

三井高棟と吉田茂

大磯城山公園全面開園20周年
旧吉田茂邸再建基金募金協力事業

城山荘と如庵、七賢堂の記憶

2011.1.8 SAT → 2011.2.13 SUN

大磯町郷土資料館会場

開館時間／9.00~17.00

休館日／1月11日・17日・24日・31日、2月1日・7日

城山公園北蔵ギャラリー会場

開館時間／9.30~16.00・会期中無休

講演会 『城山荘と祖父三井高棟の思い出』 三井保子氏

2月11日（祝）午後1時30分～3時

郷土資料館研修室・当日先着70名 着席可

城山公園 歴史と自然のまるとツアー

2月6日（日）午前11時、午後2時

郷土資料館集合・各回当日先着15名まで

主催 大磯町郷土資料館

(財)神奈川県公園協会・大磯城山公園・大磯運動公園

大磯町郷土資料館

OISO MUNICIPAL MUSEUM



茶室如庵での高棟（昭和3年）「三井八郎右衛門高棟伝」より

城山荘と如庵、七賢堂の記憶

三井高棟と吉田茂

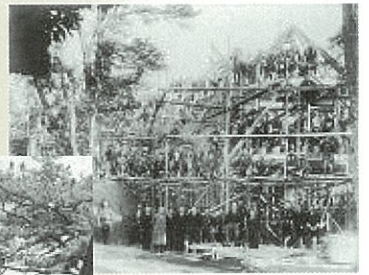
城山荘と如庵～三井高棟の面影～

郷土資料館企画展示室

三井北家(総領家)第10代当主・三井八郎右衛門高棟が、大磯・城山の地に別邸「城山荘」を設けたのは明治31年(1898)でした。三井家の家憲を制定して同族をまとめ、三井家事業を改善し、安定した事業基盤を築くなど、総領家当主としての重責を担った高棟は、夏の休暇や療養で城山荘を頻りに利用しています。そして、昭和8年(1933)に家督を嫡子・高公に譲ると、温暖で風光明媚な城山荘を終の棲家と決め、別館の建設にとりかかります。ドイツで木造耐震建築を学んだ久米権九郎に設計を依頼し、自ら建築現場で陣頭指揮にあたりました。全国の古社寺から不要な古材を集めて再生利用した別館は、物を粗末にしないという高棟の信念が息づいた建物となりました。また、震災や戦災から守るため、国宝の茶室如庵を東京の本邸から城山に移設するなど、日本文化の保存と興隆にも貢献しました。



2



1

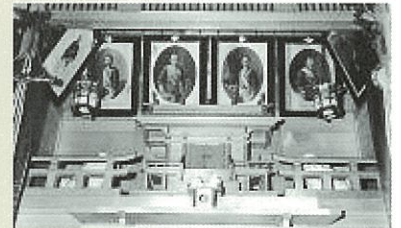


3

七賢堂～吉田茂の面影～

郷土資料館企画展示室

吉田茂の養父である吉田健三が城山に隣接する切通に別邸を設けたのは明治17年(1884)頃のことでした。吉田は、9歳になった同20年(1887)からここで多感な少年時代を過ごしています。やがて、政治の表舞台に立つ吉田ですが、一貫してこの地を本邸とし続けました。総理在任中はもちろん、政界引退後も多くの政財界人が訪れるなど、戦後政治史の舞台であった一方で、庭園や浜辺の散策で激務の疲れを癒す場でもありました。残念ながら本邸は平成21年(2009)に焼失してしまいましたが、敷地内の七賢堂は延焼を免れました。七賢堂は、もともと初代内閣総理大臣伊藤博文が滄浪閣に建てた小堂で、伊藤はいつも堂内に座し瞑想にふけていたといわれています。後に吉田が自邸に移設して祀りました。吉田にとっても、心のよりどころであったのかも知れません。



5



4

6



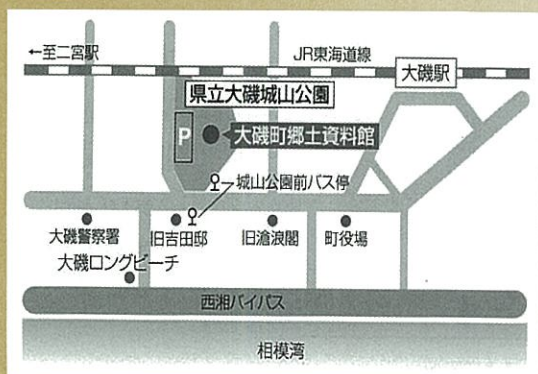
7

大磯城山公園の20年

城山公園北蔵ギャラリー

城山荘は、昭和44年(1969)に三井家の手を離れました。敷地内にあった多くの建物は移築・解体され、その後、長い間放置されていました。やがて、住宅地として開発が計画されると、多くの人々から保存を求める声が上がリ、県立都市公園として整備されることになります。城山荘時代の面影を残した園内には、如庵を模した茶室が建てられたほか、日本情緒あふれる庭園や東屋、展望台、郷土資料館などの施設もつくり、長い歴史と豊かな自然が醸し出す風情に誘われた多くの人々が訪れるようになりました。平成2年(1990)の全面開園から現在までの城山公園20年の歩みを振り返ります。

1. 建設中の城山荘別館(昭和8年 個人蔵)
2. 城山荘別館(昭和30年頃 当館蔵)
3. 如庵前庭にて(昭和3年 「三井八郎右衛門高棟伝」より)
4. 吉田茂(蒲田昌子氏撮影・提供)
5. 七賢堂内部(「写真集吉田茂」より)
6. 七賢堂(当館撮影)
7. 城山公園全面開園式(平成2年安永一夫氏撮影・提供)



交通のご案内

■電車ご利用の場合

JR東海道線「大磯駅」から二宮駅行・国府津駅行・湘南大磯住宅行バスで「城山公園前」下車徒歩5分

■お車をご利用の場合

小田原厚木道路大磯ICより県道63号、国道1号経由5分

西湘バイパス大磯西ICより国道1号経由2分

① 県立大磯城山公園駐車場利用



大磯町郷土資料館

OISO MUNICIPAL MUSEUM

〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯446-1 TEL 0463-61-4700

<http://scn-net.easymyweb.jp/member/oisomuseum/>

